

# スタンダード・ソフト

ver 3.07

追加説明書

(暫定版-1)

平成6年10月14日

コーナシステム株式会社

# 目 次

1. 拡張された機能の解説	1
1) メニューの追加	1
2) 機能の改良点	1
3) KADEC-UN ver 2. 2の取り扱いについて	2
2. メインメニュー 2. 6「モニター・多チャンネルモード及び測定モードの確認・変更」の説明	3
1) メニュー操作手順	3
2) KADEC-US 6の場合	3
3) KADEC-UNの場合	4
3. メインメニュー 2. 7「モニター・インターバル及びプリセットタイマーの確認・変更」の説明	6
1) メニュー操作手順	6
2) インターバル及びプリセットタイマーを変更する場合	6
4. メインメニュー 2. 11「モニター・拡張機能の確認・変更」の説明	7
1) メニュー操作手順	7
2) 拡張機能を選択する場合	7
3) 測定インターバルの場合	7
4) 起動風速の場合	8
5. メインメニュー 5. 4「ファイル・ファイル作成 (SEQ 形式)」の説明	9
1) メニュー操作手順	9
2) 多チャンネルモードで測定されたデータの場合 (US 6、UN 8 ch、U II 8 ch)	9
3) 単チャンネルモードのみが可能な機種で測定されたデータの場合 (U、UV 2-6 ch、U II 6 ch)	11
4) リングモードがある機種 (UN、U II、PLS)	11
6. メインメニュー 5. 5「ファイル・ファイル作成 (PRN 形式)」の説明	12
1) メニュー操作手順	12
2) 多チャンネルモードで測定されたデータの場合 (US 6、UN 8 ch、U II 8 ch)	12
3) 単チャンネルモードのみが可能な機種で測定されたデータの場合 (U、UV 2-6 ch、U II 6 ch)	13
4) リングモードがある機種	13
7. メインメニュー 5. 6「ファイル・ファイル結合 (SEQ 形式)」	14
付録. データ処理に関する付属説明	16
1) SEQファイル形式	16
2) TIMファイル形式	16
3) SEQファイルの測定インターバルコード表	17
4) 機種別フォーマット一覧	17
5) PRNファイル形式	20
6) SEQ形式で読み込み可能なデータ形式一覧表	23

## 1. 拡張された機能の解説

この取扱説明書はスタンダードソフト ver. 3.07の追加機能の説明書です。

あらかじめ、スタンダードソフト ver 3の取扱説明書を事前にお読み下さい。

以下に、ver 3.07で追加された機能を要約します。

\*印はver 3.07から拡張された機能で、○印はver 3.07以前から拡張された機能です。

### 1) メニューの追加

- メインメニュー 5.4「ファイル・ファイル作成 (SEQ 形式)」で多チャンネルデータの場合、チャンネルごとのファイルを作成できるようにした。
- メインメニュー 5.5「ファイル・ファイル作成 (PRN 形式)」を追加した。  
時刻、データの組形式のファイル出力をサポートした。
- メインメニュー 5.6「ファイル・ファイル結合 (SEQ 形式)」を追加した。
- \* メインメニュー 2.6「モニター・多チャンネルモード 及び 測定モードの確認・変更」を追加した。  
KADEC-US6, UN 多チャンネル切り替え器のチャンネル数の設定、測定モードの設定ができます。
- \* メインメニュー 2.7「モニター・インターバル 及び プリセットタイマーの確認・変更」を追加した。  
KADEC-UN 測定インターバルの設定、プリセットタイマーの設定ができます。
- \* メインメニュー 2.11「モニター・拡張機能の確認・変更」を追加した。  
KADEC-UN 拡張機能の設定ができます。

### 2) 機能の改良点

- メモリーが430Kbyteで動作可能とした。
- 解析時のデータを、ディスクに取るようにした。
- 解析時の作業用ファイルを作るディスクを環境変数に設定できるようにした。

－例－

起動ドライブのAUTOEXEC. BATというファイルに以下を追加します。

SET STDTEMP=A:

(A: ドライブに作られる。環境変数が無い場合はカレントになります。)

－注意－

ドライブは RAMディスクまたはハードディスクである必要があります。

- \* 5.4「ファイル作成 (SEQ 形式)」では同一ファイルが存在していても上書きされていましたが、ver 3.07から同一ファイルが存在している場合は確認メッセージを表示してから出力するように改良しました。
- \* 5.5「ファイル作成 (PRN 形式)」では同一ファイルが存在していても上書きされていましたが、ver 3.07から同一ファイルが存在している場合は確認メッセージを表示してから出力するように改良しました。

- \* 5. 4 「ファイル作成 (SEQ 形式)」では、ver 3. 07からはSEQ形式ファイルを元にタイムスタンプを作成するように改良いたしましたのでTIM形式ファイルは出力されません。

—注意—

ver 3. 07はファイル読み込み時に、TIM形式ファイルがディスク上にあればTIM形式ファイルを読み込み、ディスク上になれば自動的にタイムスタンプを作成します。

- \* スタンダード・ソフトを正常に終了しなかった場合などに、ディスクに解析時の作業ファイルが消去されず結果としてディスク容量を減らしていました。

(1. 5 「システム・終了」で正常に終了した場合には起きません。)

解析時の作業用ファイルを上書きモードでオープンするよう改良しました。

—注意—

スタンダード・ソフトを実行中は電源を落とす又はリセットをかける等の操作はさけてください。プログラムの暴走又はキー入力を受け付けられない等で電源を落とす又はリセットをかける等の処置をした場合、ディスクに破損がないかチェックしてください。

—チェック方法—

DOSのプロンプトで解析時の作業用ファイルが作成されるドライブに移動します。

(環境変数が指定されていなければカレントドライブに移動してください。)

DOSのCHKDSKコマンドを実行してください。

「エラーが見つかりました/Fパラメーターが指定されていないのでディスクの修復は行われません」

「1チェーン中??個の脱落クラスターが発見されました」

とのメッセージが表示されている場合はディスクの修復が必要です。

—修復方法—

破損していた場合はDOSのCHKDSKコマンドを/Fオプション付きで実行してください。

「脱落チェーンをファイルに変換しますか(Y/N)」とのメッセージが表示後、Yを入力しファイル修復してください。

修復されたファイルはルートディレクトリに作成されます。

修復されたファイルの形式はFILE0000.CHK～FILE9999.CHKです。

修復された全ファイルをDOSのDELコマンドにて消去してください。

### 3) KADEC-UN ver 2. 2の取り扱いについて

- \* KADEC-UN ver 2. 2では、2秒・20秒・30秒のインターバルが追加されました。
- \* 従来のスタンダード・ソフトver 3. 06以下でもデータ・グラフ表示されますが、追加されたインターバル2秒・20秒・30秒は対応していません、KADEC-UN ver 2. 2使用時はスタンダード・ソフトver 3. 07を使用してください。

## 2. メインメニュー 2. 6 「モニター・多チャンネルモード 及び 測定モードの確認・変更」の説明

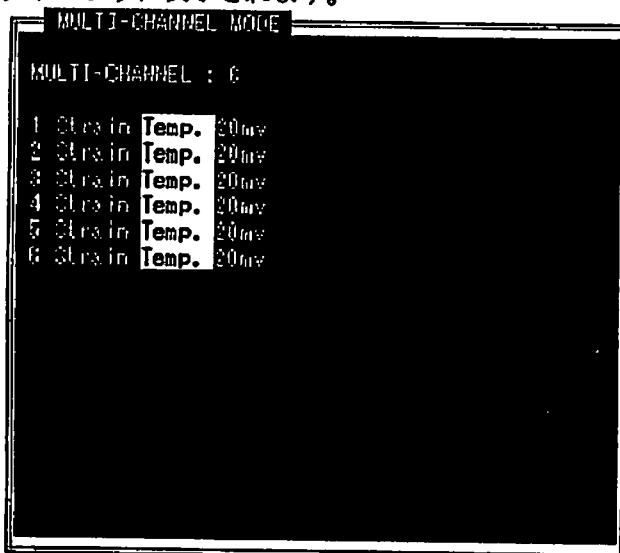
KADEC-US 6, UN 多チャンネル切り替え器のチャンネル数の設定、測定モードの設定ができます。

### 1) メニュー操作手順

- \* 1. 「通信接続 (自動)」または2. 「通信接続 (手動)」でKADECシリーズとの通信を可能とします。
- \* 6. 「多チャンネルモード 及び 測定モードの確認・変更」にカーソルを移動させ、リターンキーを押します。
- \* 現在サポートされている機種はKADEC-US 6、KADEC-UNの2機種です。  
サポートされていない機種は、ブザーが鳴り `-Not support !!-` と表示されます。
- \* 以下、機種により画面が異なります。

### 2) KADEC-US 6 の場合

- \* 以下のように表示されます。



- \* `S t r a i n` : 歪み、`T e m p` : 温度、`2 0 m v` : 電圧

#### a) US 6 の測定モード設定について

- US 6 は1度全チャンネルを主モードに設定して、それから、特定のチャンネルのみ温度に設定します。
- 歪みと電圧の混在はできません。混在したい場合は、歪みモードで電圧を測定してください。
- 設定する度に、画面が動きます。
- 混在させたい場合は、はじめに主モードをひずみまたは、電圧にセットしてください。

#### b) 測定モード設定方法

- スペースキーで主モードを選択します。(Temp. に設定されている部分は主モードになります。)
- 特定のチャンネルをTemp. に設定する場合は、↑↓カーソルキーでチャンネルを選択し、F5キーを押します。
- ESCキーで終了します。

### c) チャンネル数の変更

- ・ チャンネル数を変えたい場合は、F4を押します。
- ・ 以下の表示がされます。



- ・ 上記の例では6チャンネルが設定されていますので変更する場合はBS (Backspace) キーで現在設定されている数値を消し、新しい設定値を入れリターンキーを押します。
- ・ そのままで良い場合は、ESCキーかリターンキーを押します。

### d) ディップスイッチの設定

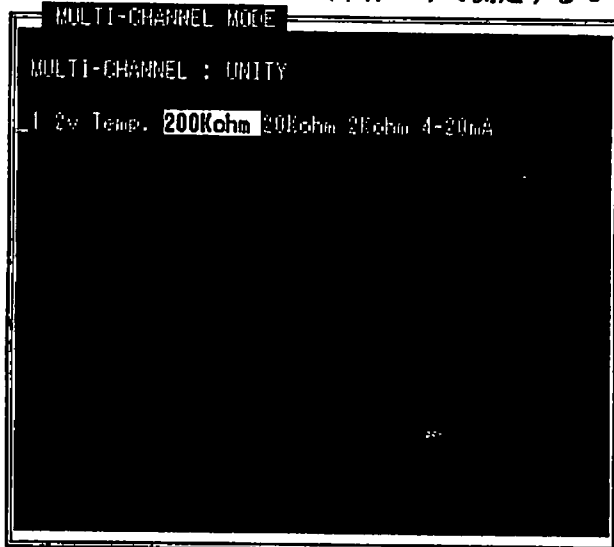
- ・ 出荷時の設定を変更する場合は、内部のディップスイッチの変更を確認してください。
- ・ ディップスイッチは、本体内のUS6とかかれたステンレスプレートをはずすと、基板上チャンネルごとに6個あります。1個につき、3つ(3連)のスイッチがあります。
- ・ 温度測定モードに設定したチャンネルの3連ディップスイッチをすべて1にしてください。
- ・ ひずみと電圧測定モードに設定したチャンネルの3連ディップスイッチは0にしてください。
- ・ ディップスイッチを正しく設定しないと、測定値が異常になります。

## 3) KADEC-UNの場合

- \* 以下のように表示されます。

### a) 単チャンネルモード測定の場合 (UN単体で測定の場合)

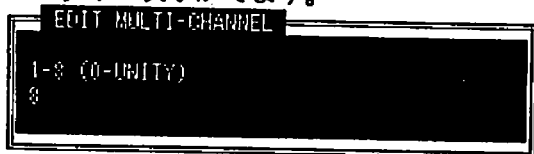
- ・ 単チャンネルモード (本体のみで測定するモード) の場合、以下の表示がでます。



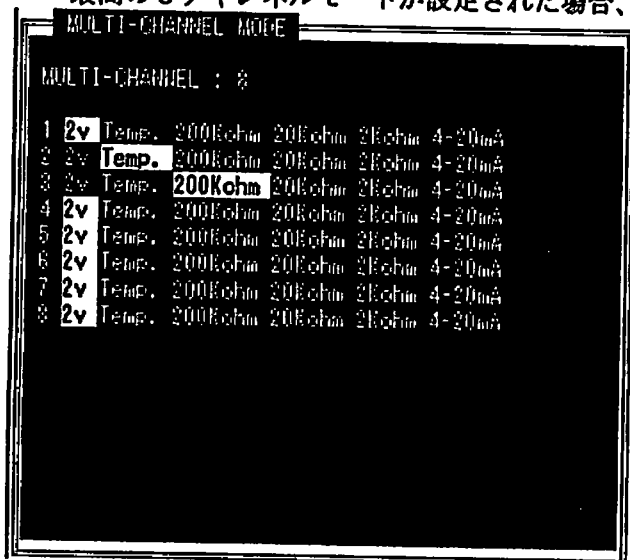
- ・ 変更のない場合はそのままリターンキー (またはEnterキ) をおします。
- ・ 多チャンネルモードへの変更は、F4キーを押します。

## b) 多チャンネルモード測定の場合

- 以下の表示がでます。



- 現在設定されているチャンネル数が表示されます。
- 変更する場合は、B S (Backspace) キーで消し新しいチャンネル数を入力します。  
(0 は単チャンネルモードです、1 は多チャンネル切り替え機を使用した1チャンネルモードです)
- 最高の8チャンネルモードが設定された場合、以下の表示がでます。



- 設定されているモードが反転表示します。
- 変更は↑↓カーソルキーでチャンネルを選択し、スペースキー (S P C) で決定します。
- ESCキーで終了します。
- 各チャンネル任意の測定モードに設定できます。

## c) 専用器の測定モードについて

- KADEC-MIZU、KAZE、HTVなど、専用機の測定モードは変更しないで下さい。  
変更した場合の動作は保証できません。誤って変更してしまった場合は、当社営業所にご連絡下さい。

### 3. メインメニュー 2. 7 「モニター・インターバル 及び プリセットタイマーの確認・変更」の説明

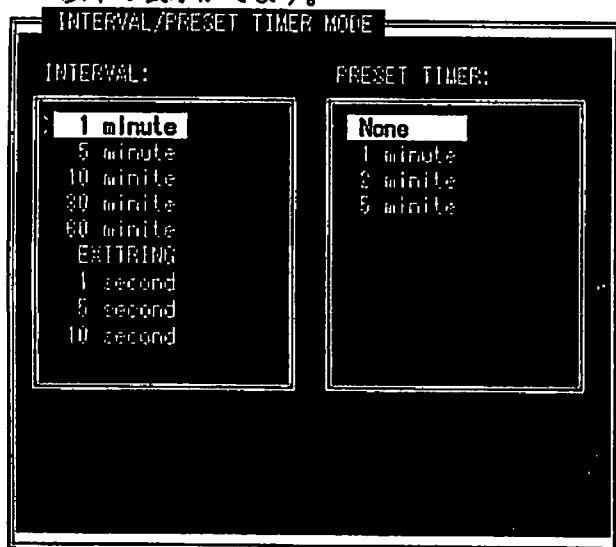
KADEC-UN インターバルの設定、プリセットタイマーの設定ができます。

#### 1) メニュー操作手順

- \* 1. 「通信接続 (自動)」または2. 「通信接続 (手動)」でKADECシリーズとの通信を可能とします。
- \* 7. 「インターバル 及び プリセットタイマーの確認・変更」にカーソルを移動させ、リターンキーを押します。
- \* 現在サポートされている機種はKADEC-UNだけです。  
サポートされていない機種は、ブザーが鳴り `-Not suport !!-` と表示されます。

#### 2) インターバル 及び プリセットタイマーを変更する場合

- ・ 以下の表示がでます。



- ・ 設定されているモードが反転表示します (カレントは黄色で表示)。
- ・ リターンキー及びタブキーでカレントを移動します。
- ・ 変更は↑↓カーソルキーでインターバル及びプリセットタイマーを選択します。
- ・ ESCキーで終了します。

#### —注意—

プリセットタイマーはインターバルによって設定が変化します。

条件としてプリセットタイマーはインターバルより小さくなければいけません。

↑↓カーソルキーでプリセットタイマーの変更ができない場合は、条件が不正になる場合です。

インターバルの変更によってプリセットタイマーの設定が不正になった場合、自動的に

プリセットタイマーはNONEに設定されます。インターバルを変更した場合はリターンキー及びタブキーでカレントを移動し、プリセットタイマーが正しく設定されているか確認して下さい。



#### 4. メインメニュー 2. 1 1 「拡張機能の確認・変更」の説明

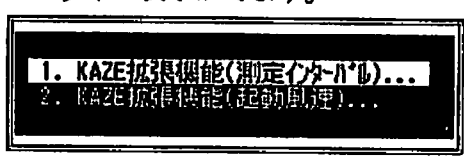
KADEC-UN 拡張機能の設定ができます。

##### 1) メニュー操作手順

- \* 1. 「通信接続（自動）」または2. 「通信接続（手動）」でKADECシリーズとの通信を可能とします。
- \* 1 1. 「拡張機能の確認・変更」にカーソルを移動させ、リターンキーをおします。
- \* 現在サポートされている機種はKADEC-UNのKAZEシステムだけです。  
サポートされていない機種は、ブザーが鳴り `-Not support !!-` と表示されます。

##### 2) 拡張機能を選択する場合

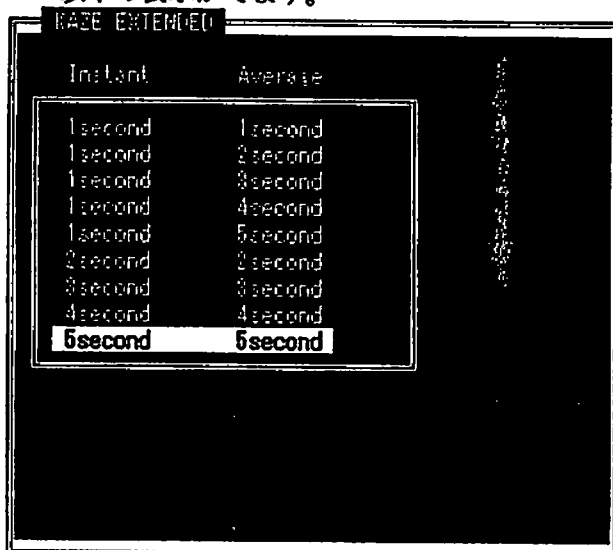
- ・ 以下の表示がでます。



- ・ 設定されているモードが反転表示します。
- ・ ↑↓カーソルキーで拡張機能を選択します。
- ・ リターンキーで選択された拡張機能を実行します。
- ・ ESCキーで終了します。

##### 3) 測定インターバルの場合

- ・ 以下の表示がでます。

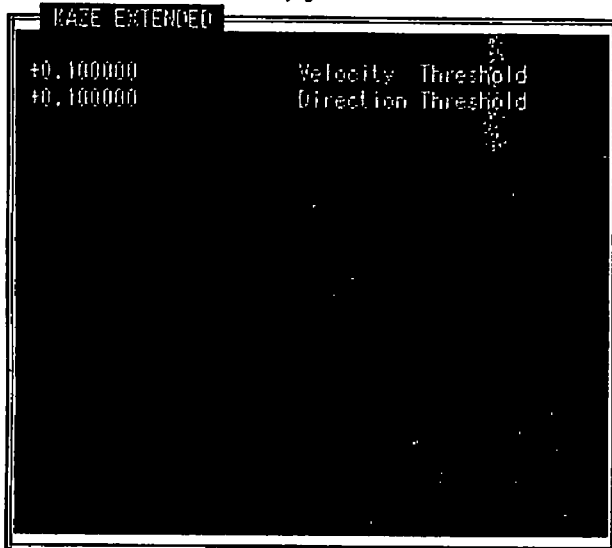


- ・ **I n s t a n t** 【瞬間最大値計測用サンプリング間隔】
- ・ **A v e r a g e** 【移動平均値及び定時平均計測用サンプリング間隔】

- ・ 設定されているモードが反転表示します。
- ・ ↑↓カーソルキーで専用インターバルを選択します。
- ・ E S Cキーで終了します。

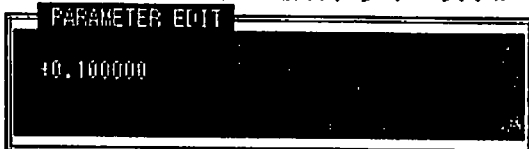
4) 起動風速の場合 (K A Z Eは起動風速を風速部・風向部、別々に設定可能です。)

- ・ 以下の表示がでます。



- ・ Velocity [風速値算出用起動風速]
- ・ Direction [風向値算出用起動風速]
- ・ K A Z E内部での判断は、[サンプリング値<起動風速値]にて行われ条件を満たすと風速値は0.0m/s・風向値はc a r mとして処理されます。

- ・ 設定されているモードが反転表示します。
  - ・ ↑↓カーソルキーで変更項目を選択します。
  - ・ リターンキーで測定係数の変更を行います。
  - ・ E S Cキーで終了します。
- ・ 測定係数の変更の場合、以下の表示がでます。



- ・ リターンキーで測定係数の設定を行います。
- ・ E S Cキーで終了します。

—注意—

設定できる値は0.1 ≤ 設定値 ≤ 60.0です。

## 5. メインメニュー 5. 4 「ファイル・ファイル作成 (SEQ 形式)」の説明

以下の機能が追加されました。

- \* 多チャンネル測定されたデータの特定チャンネルデータのファイル出力
- \* ファイルへの出力データ範囲の設定

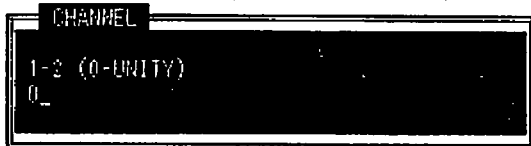
### 1) メニュー操作手順

- \* 1、「データ読み込み (BINARY ファイル)」または2、「データ読み込み (SEQ 形式)」でデータファイルを読み込んでおきます。
- \* データが読み込まれていない場合は、ブザーが鳴り `-Not present data !!-` の表示がでます。

### 2) 多チャンネルモードで測定されたデータの場合 (US6、UN8ch、UH8ch、UH6ch)

#### a) ファイルへの出力チャンネル番号の設定

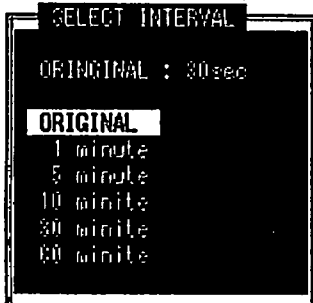
- \* 多チャンネル情報を持っているデータは以下の表示がでます。



- \* どのチャンネルのデータをファイル作成するか指定します。特定チャンネルのみのファイルを作成できます。
- \* 0を指定した場合、強制的に単チャンネルモードとしてファイル作成します。
- \* 以下の表示がでます。

#### b) 出力インターバルの設定

- \* ファイルへの出力インターバルを設定します。



- \* データをどの時間間隔 (測定インターバル) でファイルにするか選択します。
- \* オリジナル以下の時間間隔 (測定インターバル) の選択はできません。

c) 出力データ範囲の指定

- \* 以下の表示がでます。

```
FROM  
00001-01809  
-
```

- \* ファイルに出力するデータ範囲の開始データ番号を設定します。

```
TO  
00001-01809  
-
```

- \* ファイルに出力するデータ範囲の終了データ番号を設定します。
- \* ファイルの作成が始まります。

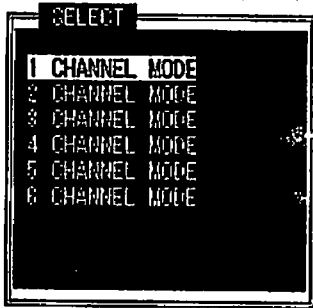
d) ファイル名の指定

```
EDIT  
ADM_LR_SEQ
```

- \* 作成されたファイル名が表示されます。  
(読み込まれているデータのファイル名に、拡張子をSEQにしたファイル名です。)
- \* 変更する場合は、[HOME]キーを押し削除、新しいファイル名を設定します。

3) 単チャンネルモードのみが可能な機種で測定されたデータの場合 (U, UV2-6ch)

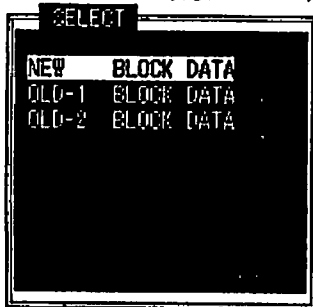
- \* 単チャンネルモードのみが可能な機種の場合以下の表示がでます。  
ファイルされているデータの測定チャンネル数を指定して下さい。



- \* 模擬的にチャンネル分割してファイルにすることもできます。
- \* オリジナルの単チャンネルでファイル作成するには、1チャンネルを選択します。

4) リングモードがある機種 (UN, U II)

- \* 以下の表示が最初にでます。



- \* 今回のデータの場合は、NEW
- \* 前回のデータの場合は、OLD-1
- \* 前々回のデータの場合は、OLD-2を選択します。
- \* 以下は同様です。

## 6. メインメニュー 5. 5 「ファイル・ファイル作成 (PRN 形式)」の説明

以下の機能が追加されました。

- \* 多チャンネルデータが、横並びに出力されます。
- \* データ数、時刻、データ 1～8 ch というデータ形式で出力されるので、表計算ソフトや、データベースソフトで扱いやすくなります。

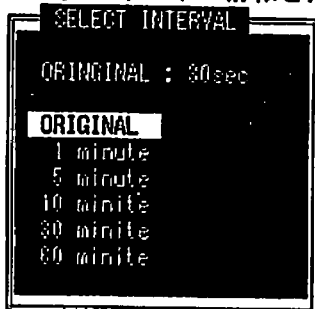
### 1) メニュー操作手順

- \* 1、「データ読み込み (BINARY ファイル)」または2、「データ読み込み (SEQ 形式)」でデータファイルを読み込んでおきます。
- \* データが読み込まれていない場合は、ブザーが鳴り `-Not present data !!-` の表示がでます。

### 2) 多チャンネルモードで測定されたデータの場合 (US6、UN8ch、UII8ch、UII6ch)

#### a) 出力インターバルの設定

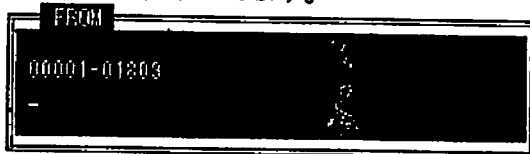
- \* 多チャンネル情報を持っているデータは以下の表示がでます。



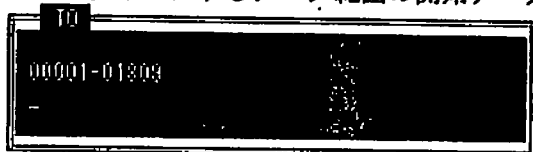
- \* データをどの時間間隔 (測定インターバル) でファイルにするか選択します。
- \* オリジナル以下の時間間隔 (測定インターバル) の選択はできません。

#### b) 出力データ範囲の指定

- \* 以下の表示がでます。

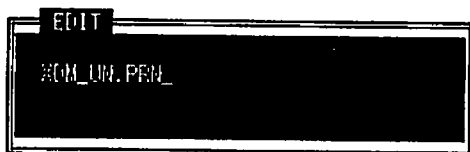


- \* ファイルにするデータ範囲の開始データ番号を設定します。



- \* ファイルにするデータ範囲の終了データ番号を設定します。
- \* ファイルの作成が始まります。

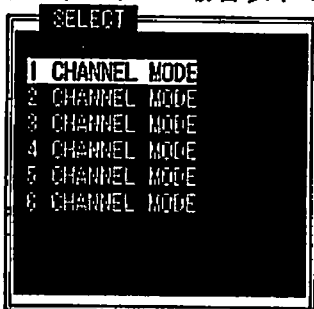
### c) ファイル名の指定



- \* 作成されたファイル名が表示されます。  
(読み込まれているデータのファイル名に、拡張子を、PRNにしたファイル名です。)
- \* 変更する場合は、[HOME] キーを押し削除、新しいファイル名を設定します。

### 3) 単チャンネルモードのみが可能な機種で測定されたデータの場合 (U, UV: 2-6 ch)

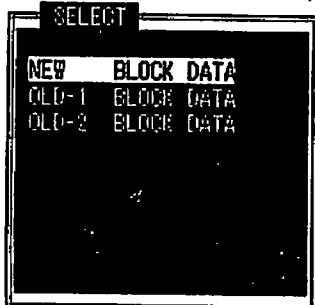
- \* 単チャンネルの場合以下の表示がでます。



- \* 模倣的に多チャンネルデータとしてファイルにすることができます。
- \* オリジナルの単チャンネルでファイル作成するには、1チャンネルを選択します。
- \* 以下は ー多チャンネルデータの場合ー と同様です。

### 4) リングモードがある機種

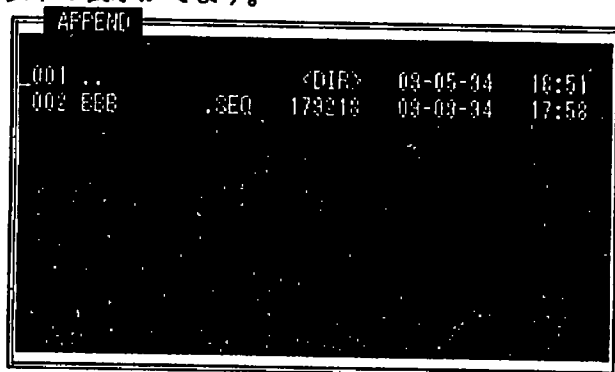
- \* 以下の表示が最初にでます。



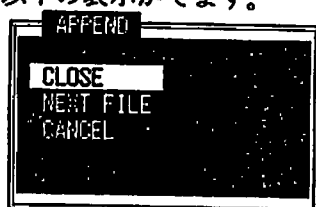
- \* 今回のデータの場合は、NEW
- \* 前回のデータの場合は、OLD-1
- \* 前々回のデータの場合は、OLD-2を選択します。
- \* 以下は同様です。

## 7. メインメニュー5.6「ファイル・ファイル結合 (SEQ形式)」の説明

- \* 連続して測定されたデータのファイル結合をおこないます。
- \* 結合するファイルは、同じ測定インターバル、同じデータ形式でなければなりません。
- \* ファイルとファイル間に本来記録されるべきデータが実際には無かった場合、前のファイルの最終データで補います。
- \* 同じ測定箇所を異なる機器で測定し、データに重複があった場合、後のファイルの重複部分が無視されます。
- \* データ形式によっては、単純に結合するものもあります。
- \* 以下の表示がでます。

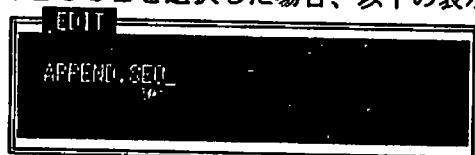


- \* 結合する最初のファイルを指定します。
- \* 以下の表示がでます。



- \* ファイルの結合を終了させる場合は、CLOSEを選択します。
- \* 結合を続ける場合は、NEXT FILEを選択します。前の表示 (ファイル選択) になります。
- \* 結合したファイルを放棄したい場合は、CANCELを選択します。

- \* CLOSEを選択した場合、以下の表示がでます。



- \* ファイルはデフォルトで「APPEND, SEQ」になります。変更が必要な場合は修正します。



－注意－

- \* データが補完された場合、モニターウインドーに以下の表示が出ます。

00001 + 93/12/13 20:14:14:40 00283

00002 + 93/12/13 20:14:24:40 00283

A B C D

- A : 補完されたデータ数。                      B : +記号が補完を示す。  
C : 補完測定時刻。                              D : 補完されたデータ。

- \* 重複のとき無視された場合、モニターウインドーに以下の表示が出ます。

00001 - 93/12/13 20:14:14:40

00002 - 93/12/13 20:14:24:40

A B C

- A : 無視されたデータ数。                      B : -記号が無視を示す。  
C : 重複で無視すべき測定時刻。

1) SEQファイル形式

\* ASCII形式ファイル

出力データ形式	データ内容
" 94/01/21 15:20:46"	データ回収日
" 93/12/28 11:20:00"	測定開始日
" 94/05/10 09:10:11"	測定終了日
" 3314"	測定データ数 (-1)
" 3"	測定インターバル
" FFFFFFFF"	メモ6 (ファイル名)
" 0000000000"	メモ1
" 1111111111"	メモ2
" 2222222222"	メモ3
" 3333333333"	メモ4
" 4444444444"	メモ5
" 8"	データ種別
+12031	測定データ 1
+00084	測定データ 2
.	.
.	.
.	.
+00087	測定データ N

注意1 測定インターバルはコード化されています。変換は別表を参照ください。

注意2 データ種別はコード化されています。変換は別表を参照ください。

注意3 データの小数点は削除されます。変換は別表を参照ください。

注意4 データは特殊形式があります。別表を参照ください。

2) TIMファイル形式

\* ASCII形式ファイル

出力データ形式	データ内容
5	タイムスタンプ数 (-1)
940124160000	タイムスタンプ1
940124170400	タイムスタンプ2
940124180800	タイムスタンプ3
940124191200	タイムスタンプ4
940124201600	タイムスタンプ5
940124212000	タイムスタンプ6

3) SEQファイルの測定インターバルコード表

コード	測定インターバル
0	10秒
1	30秒
2	1分
3	10分
4	30分
5	60分
6	未使用
7	5分
8	1秒
9	2秒
10	5秒
11	未使用
12	20秒

4) 機種別フォーマット一覧

—注意— 出力データ形式で「+」の記号は「+」及び「-」を意味します。

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際の小数点	単位
KADEC-UN	2V	0	+00000	+0000.0	(mV)
	温度	11	+00000	+0000.0	(℃)
	200Kohm	14	00000	000.00	(Kohm)
	20Kohm	13	00000	00000	(ohm)
	2Kohm	12	00000	0000.0	(ohm)
	4-20mA	15	00000	00.000	(mA)

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際の小数点	単位
KADEC-UN ver 2.2	2V	0	+00000	+0000.0	(mV)
	温度	40	+00000	+0000.0	(℃)
	200Kohm	43	00000	000.00	(Kohm)
	20Kohm	42	00000	00000	(ohm)
	2Kohm	41	00000	0000.0	(ohm)
	4-20mA	44	00000	00.000	(mA)

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際の小数点	単位
KADEC-U2	2V	0	+00000	+0000.0	(mV)
	温度	1	+00000	+0000.0	(℃)
	20Kohm	2	00000	00000	(ohm)

機能	データ種別	出力データ形式
KADEC-PLS	10	940125174315

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UV KADEC-U	500mV	0	+00000	+0000.0	(mV)
	温度	1	+00000	+0000.0	(℃)
	2Kohm	2	00000	00000	(ohm)

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UP	積算10mV	3	+00000	+000.00	(mV)
	パルス積算	4	00000	00000	(パルス)
	10mV	5	+00000	+000.00	(mV)

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-US	歪み	6	+00000	+00000	(uE)
	温度	7	+00000	+000.00	(℃)
	20mV	8	+00000	+00.000	(mV)

機能	測定モード	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-US6	歪み	6	+00000	+00000	(uE)
	温度	7	+00000	+000.00	(℃)
	20mV	8	+00000	+00.000	(mV)

機能	データ種別	出力データ形式
KADEC-UN "KAZE"	50	
" 00 0000 940124130100 00 0000 940124130100 00 0000 940124130100"		
A B C D E F G H I		
(毎時平均度)	A: 方位 (1-17) (1-北北東、16-北), 17-静穏	[コラム] 2-3
	B: 風速 (実際的小数点 000.0)	5-8
	C: 時刻	10-21
(最大瞬間)	D: 方位 (1-17) (1-北北東、16-北), 17-静穏	23-24
	E: 風速 (実際的小数点 000.0)	26-29
	F: 時刻	31-42
(最大平均)	G: 方位 (1-17) (1-北北東、16-北), 17-静穏	44-45
	H: 風速 (実際的小数点 000.0)	47-50
	I: 時刻	52-63

機能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN "MIZU" S-10, DRUCK	16	00000	00.000	(m)

機 能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN ver 2. 2 " MIZU" S-10, DRUCK	45	00000	00. 000	(m)

機 能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN " MIZU" 歪み	17.	00000	000. 00	(m)

機 能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN ver 2. 2 " MIZU" 歪み	46	00000	000. 00	(m)

機 能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN " HTV" 温湿度	51	00000	0000. 0	(℃、%)

機 能	データ種別	出力データ形式	実際的小数点	単位
KADEC-UN ver 2. 2 " HTV" 温湿度	51	00000	0000. 0	(℃、%)

5) PRNファイル形式

\* PRN形式ファイルは、SEQと同様のASCII形式のファイルですが、データは全て1データごとにデータ番号及び時刻と一対となっているため「LOTUS123」等の表計算ソフト及び、「D-BASE」等のデータベースソフトで処理しやすい形式となっております。

—注意—

メモ等の管理データは出力されません。

出力データ形式で「+」の記号は、「+」及び「-」を意味します。

機 能	測定モード	出力データ形式	
KADEC-UN	2 V	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(mV)
	温度	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(℃)
	200 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 000.00	(Kohm)
	20 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 00000	(ohm)
	2 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 0000.0	(ohm)
	4-20 mA	<u>00001, "93/12/28", "11:20:00", 00.000</u>	(mA)
		A B C D	
A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ			
多チャンネル測定時の出力データ形式(8チャンネルの場合) (右方向にデータが並びます)			
00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0			

機 能	測定モード	出力データ形式	
KADEC-UN ver 2.2	2 V	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(mV)
	温度	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(℃)
	200 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 000.00	(Kohm)
	20 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 00000	(ohm)
	2 Kohm	00001, "93/12/28", "11:20:00", 0000.0	(ohm)
	4-20 mA	<u>00001, "93/12/28", "11:20:00", 00.000</u>	(mA)
		A B C D	
A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ			
多チャンネル測定時の出力データ形式(8チャンネルの場合) (右方向にデータが並びます)			
00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0			

機 能	測定モード	出力データ形式	
KADEC-U2	2 V	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(mV)
	温度	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0	(℃)
	20 Kohm	<u>00001, "93/12/28", "11:20:00", 00000</u>	(ohm)
		A B C D	
A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ			
多チャンネル測定時の出力データ形式(8チャンネルの場合) (右方向にデータが並びます)			
00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0			

機能	測定モード	出力データ形式
KADEC-PLS		00001, "93/12/28", "11:20:00", 0013 A B C D A: データ番号 B: 年月日 C: 時刻 D: 履歴カウンター

機能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UV KADEC-U	2 V 温度 2 K o h m	00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0 (mV) 00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0 (°C) 00001, "93/12/28", "11:20:00", 00000 (o h m) A B C D A: データ番号 B: 年月日 C: 時刻 D: データ

多チャンネル測定時の出力データ形式 (6チャンネルの場合) (右方向にデータが並びます)  
00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0

機能	測定モード	出力データ形式
KADEC-US	歪み 温度 2 0 m V	00001, "93/12/28", "11:20:00", +00000 (u E) 00001, "93/12/28", "11:20:00", +000.00 (°C) 00001, "93/12/28", "11:20:00", +00.000 (m V) A B C D A: データ番号 B: 年月日 C: 時刻 D: データ

機能	測定モード	出力データ形式
KADEC-US 6	歪み 温度 2 0 m V	00001, "93/12/28", "11:20:00", +00000 (u E) 00001, "93/12/28", "11:20:00", +000.00 (°C) 00001, "93/12/28", "11:20:00", +00.000 (m V) A B C D A: データ番号 B: 年月日 C: 時刻 D: データ

多チャンネル測定時の出力データ形式 (6チャンネルの場合) (右方向にデータが並びます)  
00001, "93/12/28", "11:20:00", +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0, +0000.0

機能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN " KAZE"		

00001, 12, 009.8, "94/01/11", "09:59:55", 12, 009.8, "94/01/11", "09:59:55", 12, 009.8, "94/01/11", "09:59:55"  
A B C D E F G H I J K L M  
A: データ番号  
(毎時平均) B: 風向 (1-17、1-北北東) C: 風速 (m/s) D: 年月日 E: 時間  
(最大瞬間) F: 風向 (1-17、1-北北東) G: 風速 (m/s) H: 年月日 I: 時間  
(最大平均) J: 風向 (1-17、1-北北東) K: 風速 (m/s) L: 年月日 M: 時間

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN " MIZU" S-10, DRUCK		00001, "93/12/28", "11:20:00", 00.000 A B C D A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ (m)

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN ver 2. 2 " MIZU" S-10, DRUCK		00001, "93/12/28", "11:20:00", 00.000 A B C D A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ (m)

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN " MIZU" 歪み		00001, "93/12/28", "11:20:00", 000.00 A B C D A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ (m)

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN ver 2. 2 " MIZU" 歪み		00001, "93/12/28", "11:20:00", 000.00 A B C D A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:データ (m)

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN 温湿度		00001, "93/12/28", "11:20:00", +000.0, 000.0 A B C D E A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:温度 (°C) E:温度 (%)

機 能	測定モード	出力データ形式
KADEC-UN ver 2. 2 温湿度		00001, "93/12/28", "11:20:00", +000.0, 000.0 A B C D E A:データ番号 B:年月日 C:時刻 D:温度 (°C) E:温度 (%)



6) SEQ形式で読み込み可能なデータ形式一覧表

データ種別	測定モード	サポート	判断機種
0	2V	○	KADEC-U2
1	温度	○	KADEC-U2
2	20Kohm	○	KADEC-U2
3	積算10mV	○	KADEC-UP
4	パルス積算	○	KADEC-UP
5	10mV	○	KADEC-UP
6	歪み	○	KADEC-US6
7	温度	○	KADEC-US6
8	20mV	○	KADEC-US6
9	20mV	○	KADEC-US6
10	時間	○	KADEC-PLS
11	温度	○	KADEC-UN
12	2Kohm	○	KADEC-UN
13	20Kohm	○	KADEC-UN
14	200Kohm	○	KADEC-UN
15	4-20mA	○	KADEC-UN
16	水位	○	KADEC-UN "MIZU"
17	水位	○	KADEC-UN "MIZU"
40	温度	○	KADEC-UN ver2.2
41	2Kohm	○	KADEC-UN ver2.2
42	20Kohm	○	KADEC-UN ver2.2
43	200Kohm	○	KADEC-UN ver2.2
44	4-20mA	○	KADEC-UN ver2.2
45	水位	○	KADEC-UN ver2.2 "MIZU"
46	水位	○	KADEC-UN ver2.2 "MIZU"
50	KAZE	×	
51	温湿度	×	

スタンダード・ソフトの追加・改良点

ver 3. 06	ver 3. 07
<p>UN ver 2. 2をサポートしていません。 測定インターバルモードが2・20・30秒で計測されたデータについては表示系、他については異常となります。</p>	<p>KADEC-UN ver 2. 2の機種対応。</p>
<p>多チャンネルモードの確認・変更メニュー 多チャンネルモードの確認・変更しかなかった。</p>	<p>多チャンネルモード及び測定モードの確認・変更メニューに変更になった。 測定モードの確認・変更が追加になった。 (UN, US6のみ)</p>
<p>なし</p>	<p>インターバル及びプリセットタイマーの確認・変更メニューが追加になった。 インターバルの確認・変更が追加になった。 プリセットタイマーの確認・変更が追加になった。 (UNのみ)</p>
<p>なし</p>	<p>拡張機能メニューが追加になった。</p>
<p>なし</p>	<p>拡張機能KAZE (測定インターバル) メニューが追加になった。 測定インターバルの確認・変更が追加になった。 (UN・KAZEのみ)</p>
<p>なし</p>	<p>拡張機能KAZE (起動風速) メニューが追加になった。 起動風速の確認・変更が追加になった。 (UN・KAZEのみ)</p>
<p>ファイル作成 (SEQ-TIM 形式) メニュー SEQ, TIMの2種類のファイルが出力されていた</p>	<p>ファイル作成 (SEQ 形式) メニューが変更になった。 TIMファイル出力はなくなりました。 タイムスタンプはSEQファイルを元に自動計算されます。</p>
<p>ファイル作成 (SEQ-TIM 形式) 機能では、読み込んだファイル名の拡張子をSEQとしていた。連続してファイルを作成する場合、初回に作成したファイル名称を変更しないと上書きされる現象が起きていた。</p>	<p>SEQファイル作成作業ファイルを作成し連続動作可能とした。</p>
<p>ファイル作成 (PRN 形式) 機能では、読み込んだファイル名の拡張子をPRNとしていた。連続してファイルを作成する場合、初回に作成したファイル名称を変更しないと上書きされる現象が起きていた。</p>	<p>PRNファイル作成作業ファイルを作成し連続動作可能とした。</p>

ver 3. 06	ver 3. 07
<p>ファイル作成 (SEQ-TIM 形式) 機能で、ファイル出力時STOP TIMEを再計算していた為、元のファイルと違ったSTOP TIMEをファイル出力していた場合があった。</p>	<p>再計算せずにSTOP TIMEを、そのままファイルに出力するようにした。</p>
<p>電源を落とす又はリセットをかけるなどで正常にスタンダード・ソフトを終了しなかった場合。  ◎ユニークな名称で解析時の作業ファイルが作成される為、ディスク容量を消費してしまう。  ◎脱落クラスタを作ってしまう。</p>	<p>◎解析時の作業ファイル名称を固定にしファイルを上書きモードでオープンするようにした。  ◎解析時の作業ファイルを作成後、ファイルをクローズして回避した。</p>
<p>CTRL-C又はCTRL-BREAK時に解析時の作業ファイルをクローズしていなかった。</p>	<p>解析時の作業ファイルをクローズするようにしました。</p>
<p>ライン操作でBSキーが効かない。</p>	<p>ライン操作でBSキーを有効にしました。</p>
<p>グラフ表示時のESCキーによる表示中止はしていません。</p>	<p>グラフ表示時のESCキーによる表示中止を有効にしました。</p>